

食育事業取組報告書(川東小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	2024年度 5月～2月
教科名	総合的な学習の時間	指導者	
単元名	3年生川東ファーム 味わおう伝えよう川東の農産物！		
ねらい	・川東地区の特産である二王子ナスの野菜を育て、味わうことでその魅力を実感する。 ・自分たちが味わい、実感した地元農産物の魅力を多くの人に伝える。		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	資料
○川東地区の農家の人に教えてもらい、地域の特産野菜である二王子ナスの野菜を育てる。 ・いたやま純心村の方にお越しいただき、二王子ナスの栽培方法を聞き、学校の畑で育てる。【資料1】 ○野菜以外の農産物としてイチゴの収穫体験を行う。 ・川東地区のイチゴ農園ビレッジ岡田の方からイチゴの栽培方法などを聞く。 ・イチゴの美味しさをさらに味わえるよう、新発田農業高校の生徒とともにジャム作りを行う。【資料2】 ○文化祭でビレッジ岡田の越後姫のジャムを使ったオリジナルピザの販売を行う。 ・阿賀野市のピザキッチンカーの方にお越しいただき、ピザづくりワークショップを行なう。【資料3】 ・みんなでアイデアを出し合いながら、イチゴの美味しさを味わってもらうためのオリジナルピザを考える。 ○これまでの学習で調べたり、実際に味わって感じた地域の農産物の魅力を市役所の広場で川東の野菜たっぷりのオリジナル雑煮の販売やポスター発表を通して多くの人に伝える。【資料4】 ・どのように伝えようとよりその魅力が伝わるか、グループごとに意見を出し合いながら発表をつくり上げていく。		・水やりや草取りなど子どもたちが主体的に行えるよう働きかける。 ・それぞれの野菜について調べる時間をつくり、野菜についての知識を深める。 ・イチゴについて教えてもらったことをポスターなどにまとめ、学びを全体で可視化し、共有できるようにする。 ・素材の美味しさを生かせる調理法として子どもたちにもなじみ深いピザを選ぶことで、子どもたちが楽しくオリジナルピザを考えられるようにする。 ・他のグループやお家の方々に向けて発表する機会をつくり、アドバイスしてもらい、子どもたちが意欲的によりよい発表にしていけるようにする。 ・地域の野菜たっぷり雑煮については、地域の食生活改善推進委員会の方に協力してもらい、子どもたちのアイデアが販売できる形になるようにする。	 【資料1】  【資料2】  【資料3】  【資料4】
成果と課題	○川東地区でよく育てられているナスの栽培を行い、世話と収穫に継続して取り組んだ。また、自分が育てた野菜や収穫体験したイチゴを様々な料理で味わうことで、地域の農産物の魅力を実感し、愛着を感じていた。 ○地域の農産物の生産者の方々や食生活改善推進委員と連携した単元開発を行うことで、活動がダイナミックに展開され、それが子どもたちの生きた体験に繋がり、子どもたちの様々な力を効果的に高めたと考える。		
家庭・地域との連携	○家庭・地域とつながり、連携していくことで学習が広がり、深まっていた。また、学習支援の視点からも協力を仰ぐことで、子どもたちは意欲的に活動に没頭することができた。		